

# Ambitious アンビシヤス



乗り越えられる人にしか  
与えない試練!  
辛い時こそ笑って生きよう!

表紙は語る

「潰瘍性大腸炎」

アンビシヤス通信

3月の報告あれこれ

こころの現場から  
つぶやきチャンプルー

シリーズ初回

『患者学』 加藤 眞三教授

沖縄県難病団体の掲示板  
団体定例会・交流会スケジュール  
沖縄県内難病患者団体一覧

アンビシヤス広場

エッセイ 諸喜田 美智代さん

患者団体からのお便り

読者の声

難病短歌・川柳

お勧め映画情報

占い

編集後記

アンビシヤスメモ

保健所からのご案内

表紙は語る

儀間 大輝 (ぎまだいき)さん

潰瘍性大腸炎

# 乗り越えられる人にしか与えない試練！ 辛い時こそ笑って生きよう！



10年前：高校1年生の1月、これまでに健康だった僕の身体を突如、『潰瘍性大腸炎』という難病が襲いました。冬休みに入る前、激しい腹痛と下痢が続き、初めはお腹の調子が悪いだけだと思っていました。徐々に血便と下血が始まり、夜中に何度もトイレに

こもりっぱなしの生活がそれから2ヶ月も続きました。当時の僕は反抗期で、両親にその事を言えずに隠していました。日に日にやつれ、食欲が全く無くなっていき、食べ物の匂いですら腸が刺激され激痛がありました。ずっと耐え続け

ていました。そんな中、冬休み明け、学校に登校すると友達から「顔色が悪いよ？大丈夫？」と心配され、授業中何度もお腹の痛みに苦痛で顔を歪めている僕を心配し、病院に行った方が良いと勧めてくれました。「ちよつと調子が悪いだけだから大丈夫！」と言ったものの何度もトイレに駆け込み、フラフラな状態で帰宅しました。

その日の夕方でした。ある芸能人の方が癌で亡くなったニュースをたまたま見た時、もしかしたら癌に近いくらい重大な病気かもしれないと、突然もの凄く不安と恐怖に駆られ、意を決し母親に相談しました。次の日の朝、病院で検査を受けました。医師からの言葉は重く、『潰瘍性大腸炎の中でも重症レベルで即入院』と診断され、その現実を素直に信じられず、頭の中が真っ白になり、「この先どうなるだろう」と不安を感じた事を今でも鮮明に覚えています。

「どうして自分なんだ…」と難病を受け止められずに、「何でもっと早く家族に相談出来なかったのだろうか…」と凄く後悔しました。

そこから約2年に渡る僕の人生を変えた闘病生活が始まりました。

大腸の激しい炎症により、トイレでは常に出血を起こし、貧血度合いが酷く、沖縄本島の病院に移りたくても飛行機にも乗れないほど衰弱していました。

本島の病院に移ってからも、絶食を何ヶ月も続けていたのでIVH(中心静脈栄養)をずっと首からぶら下げていて体重も30キロ激減。満足にお風呂も入れませんでしたし、外にもなかなか出られずネガティブになり、物事をマイナスばかりに捉え、周りに対しての暴言や八つ当たりが強くなっていました。また強い痛み止めを何度も使用し、依存から禁断症状、パニック障害まで症状として出てきました。沢山の内科治療と検査、大



大切な仲間達との毎月フットサルを楽しんでいる儀間さん(写真左)

量の薬を服用して、体だけでなく心のストレスも計り知れない程でした。当たり前だった日常の生活とかけ離れ、病院に拘束された生活を強いられている事に残酷さすら感じ、毎日泣いていました。

そんな中、苦しくて辛い時もずっと側で付き添ってくれてる両親や、寂しい思いをして家で待っているオジちゃんや妹、ビデオレターやメールで励ましの言葉をくれた学校のクラスメイトが僕の励みになり、唯一自分を保てる光となっていました。入院中は沢山の方々がお見舞いに駆けつけ

てくれて、僕を勇気付けてくれたり、楽しませてくれました。長いこと入院をしていると『沢山の気付き』と『人との繋がり』を感じられるようになりました。自分だけが辛いんじゃない。僕の周りには皆僕が病気をして苦しんでいる事が、辛く悲しいんだと。たくさんの方が僕を支えてくれていて幸せ者なんだと。だから必ず克服しなきゃ。僕は病気になる前、感謝する気持ちで足りなかつたと思います。でも病気になつてからは変わりました。僕よりも重度の難病患者や癌の子ども達、生まれ持つて障害がある人、同じ病室で共に生活をしていた患者さん達は皆それぞれに与えられた試練に立ち向かつている強い人ばかりで、凄く感じるものがあり、僕自身の病気と闘うパワーになりました。1人じゃない。誰でも皆、周りに支えられて生きている。乗り越えられない壁なんてなく、『神様が乗り越えられる人にしか与えない試練』という事をいつも自分に言い聞かせていました。いつまで続くか分からない闘病生活も初めは慣れず苦しい事ばかりでしたが、そんな状況だからこそ、一度深呼吸をして落ち着いたところからまた考えを『前向き』にする事が

大事な事だと学びました。内科治療を続けて1年くらいあと、腹腔鏡手術を受ける事になりました。大腸の殆どを切除する大手術で3回に渡つて行い、腸を休ませながら繋げるものでした。その間は人工肛門を付けて生活を送るので、初めは人工肛門だなんて考えた事もなかつたのですが、これで良くなるならやるしかない。少しでも明るい生活が送れるのであれば、手術をしよう！この時からほとんどな事もプラス思考に考えられる様になりました。実際、手術を受ける事に不安はありませんでしたが、ここまで頑張ってくれてる大腸に『今まで、ありがとう』という気持ちが大きく、良い意味の『なぐくるないさあ』精神で無事に乗り越えられました。術後は外科で経過



美容院での仕事風景

を見ていきりましたが、みるみる調子が良くなり、人工肛門も無く、普段通りの生活が送れるくらいに回復しました。発症してから早10年、多少のリスクはありますが、今では病気と上手につき合いながら5年前に地元沖繩を離れ、神奈川県で沢山の素敵な仲間と出会い、両親の跡を継ぐため、美容師としての修業に日々『感謝』と『成長』を噛み締めながら、楽しく頑張っています。今振り返ると、病気を通して僕の名前の通り大きく輝く財産となる経験をさせて貰いました。『辛い時だからこそ笑って生きよう！』が10年経った今でも僕の目指している自分のあり方です。これからは僕から始まる幸せの輪を、関わる全ての人に発信していきます！

語者プロフィール

儀間 大輝さん

(ぎま だいき)

【出身地】1988年 宮古島市伊良部出身

【趣味】スポーツ 三味線

【家族構成】

祖父・父・母・妹・パピイ(パピヨン犬)

【特技】カット、誰とでも仲良くなれる

【好きな言葉】才能は有限、努力は無限

【好きな食べ物】グリーンカレー

【最近の楽しみ】人との出会い

## 3月の報告

## あれこれ



## 膠原病

## セカンドオピニオン

今回は、首里城下町クリニックの比嘉啓先生にご協力を頂いての相談会でした。

膠原病は、ひとつの病気の名前でなく、共通の特徴をもつ複数の病気の総称です。

そのため、今回は疾患も年齢層も違った3組4名の相談者が参加されました。

医師や医療機関によって患者さんに提供すべきだと考える治療は同じとは限りませんし、提供できる医療内容に限界がある場合もあります。また、それぞれの患者さんによって、自分の受けたい治療は様々です。

最善だと思える治療を患者と主治医との間で判断するために、別



の医師の意見を聴くこと、それがセカンドオピニオンです。

「少し安心できました」「分かったはいたけれど…、確認できてよかったです。これから前向きにやってみようと思います。」「これから治療を始めます！」と、それぞれホッと納得された様子でした。患者中心の医療の実現のために、セカンドオピニオンは非常に有用だと思えた相談会でした。

## 筋萎縮性側索硬化症

## (ALS) 外出支援

## 情報交換会

「外出上手は災害避難上手」をテーマに、日本ALS協会鹿児島県支部の里中さん、福永さんを講師にお招きし、県外の事例紹介および意見交換会を行いました。

人工呼吸器を装着して療養をされているみな様の多くは、なかなか外に出ていく機会がないと思われ、外出することによって、災害時などいつもと違った環境で



もうまく対処できるということ4を、いくつかの事例を挙げ説明して頂きました。また、在宅療養に必要な制度や支援についての、鹿児島のALS協会の活動事例をご紹介します。

これまでALS関連の勉強会をいくつか行ってきましたが、どちらかというと意志伝達装置の使用方法や台風等の停電時緊急電源確保など、ハード面の勉強会に偏りがちでした。今回は使える制度や関係する施設、行政をいかに巻き込み支援をしてもらうかというソフト面を中心にした意見交換会となり、今まで私たちに欠けていた視点からのお話が聞け、大変勉強になりました。

在宅で療養されている患者さんやご家族の方が楽しみや生きがいをもち、人間らしい生活が送れるような支援についてあらためて考える機会となりました。

里中さん、福永さん遠方より駆けつけて頂き、大変ありがとうございました。

こころの  
現場から

創造的な作業  
による効用

前回、心理状態は人物画に現れると書きましたが、今回はその効用を考えたいと思います。

絵を描いたり、趣味などの作業をすることによって、制限されている肉体や生活から意識を遠ざけ、安全に現実逃避し、再び現実社会で頑張る心のエネルギーを貯めることができることだと考えられます。また言葉で自分のことや悩みを伝えるよりも、侵襲性が少なく、相手の反応や対応により傷つくことが少ないことが特徴です。それに加え、言葉では意識していることしか

話されませんが、絵などの創作では、意識していることだけでなく無意識のことまで表現されるので、何年も後になってもその意味がわかることも多いです。

絵に関する活動でも、絵画鑑賞と自分で絵を描くこととは心理的な意味が異なります。「この絵や作品になぜか無性に惹かれる」という場合、創作しなくてもその作品で今のあなたの心理状態や願望が十二分に表現されていると考えてよいでしょう。

楽器や他の趣味活動でも同様で、例えば、和歌や俳句など型にはめられたものが好きだと、より安全な形で自分を表現できますし、生活でも整理されたことを望んでいるのでは…と分析します。また自分の好む楽器が

もつ響き(可憐な音、遠くまで通る音等)や、楽器の歴史(先祖代々受け継ぐものだったり、楽器の作られた由来等)、文化(地域で受け継がれているもの)が、その方の人生とリンクしていたりパーソナリティを的確に表現していると分析します。

自分を的確に表現できること自体が喜ばしいことですし、相手に認められたと感じたり、わかってもらえたという感覚になるため、生きるエネルギーが養われることが、一番の効用と言えるでしょう。



臨床心理士  
鎌田 依里  
(かまだ えり)



つぶやき  
千ちゃんブルー



帰って来るテルキナマン

クローン病を持ちながら難病支援活動をしてきましたが、活動が13年もたつと、クローン病も定期的に暴れたりします。

個人差はありますが、私の場合は5年サイクル位に私のクローン病の暴れがピークに達します。この原稿を書いているのは4月10日なのですが、実は、小腸の手術を控えて入院しているのです。日常業務、年度決算に向けての業務では、スタッフが全力でサポートしてくれて、申し訳無いのと感謝の気持ちでいっぱいです。

止するのは組織としては成り立たないと思います。今はなんとか良きスタッフが揃っているので助かっています。とはいっても、患者さんや支援者にはご迷惑をおかけすることもあろうかと思えます。もうしばらく、お待ちくださいませ。壊死した小腸を切除したら、もう悪い所は無くなるので、これまでに以上の活動が可能となりますので、皆様からお声がかかれば、直ぐに飛んで参ります。



著:照喜名 通

## シリーズ「患者学」第1回

## 市民公開講座「患者学」の開講

慶応義塾大学看護医療学部

教授 加藤 眞三

## 講座の開講に至った背景

昨春秋、慶應義塾大学の信濃町キャンパスにおいて、患者、市民、医療者、学生を対象として市民公開講座「患者学」を開講した。そのスローガンを「患者に学ぶ、患者も学ぶ」とした。医療者や医療系学生は患者に学び、患者や市民も自分たちの受ける医療をよくするために学んでもらうことが望ましいと考えたからである。

## 医療の現状

治験薬の論文不正や不適切な手術で死亡した患者などの報道が後を絶たず、単行本、週刊誌やインターネット上には医療不信をおおるような記事があふれている。うかうかしていると、患者はモルモット（実験対象）にされるか、カモ（儲けの手段）にされると疑心暗鬼になっている。医療の現場で、患者と医療者の

関係性が悪いことは、お互いにとつて不幸なこととは言うまでもない。患者には病気や健康に関し

て悪影響を与える可能生もあるし、医療者側も仕事をやりにくくなる。本来、医療者と患者は、病気という対象に向かって闘う協働の関係性にあるはずだ。なぜなら、医療というシステムは、社会の基盤となる共有財産であり、患者のために医療は存在し、医療者は医療内容の提供により社会から報酬を受けている。

しかし、現実には、医師にとつては科学的であることを重視する余り、患者を普遍的に診断される病名に当てはめようとするため、個々の患者の事情にはあまり注意が向かない。また、勤務医は厳しい勤務状況で忙し過ぎて気持ちに余裕を持ってない。そのため病院を退職する人が増え、研修医の教育制度の改革を機に医師不足が一層深刻となり、地方の中

核にある公立病院が閉院に追い込まれる事件が続発している。ある地域ではA病院の閉鎖がB病院の閉鎖を招き、次々に病院が閉鎖するというドミノ現象をおこし、「医療崩壊」の時代を迎えている。

## 講座「患者学」の目標

公開講座「患者学」はこのような状況の中で、患者と医療者、市民と学生がお互いに現場の医療の問題について本音で対話をし、そのことよつて対立の関係を協働の関係性にしようとする試みである。円滑に対話をするためには、お互いに水平の関係になることが望まれる。

そうはいっても、医療者と患者が水平の関係になるなんて難しいと思う人も多い。しかし、患者も自分の病気をなおす方法について他の誰よりも最もよく知っている専門家の人として、医療チームにはいることが望まれるのだ。なぜなら、患者の価値観や大切にしているもの、生き方や生きがいについて最も詳しいのは患者自身であるはずだから。自分の病気を治そうと主体的に

とりくむ患者を私は「主治患者」と呼んでいる。主治患者として自分の主体性を発揮すれば、よりよい療養生活を送ることが可能となる。「主治患者」が社会の中に多くなれば、医療者の側も水平で対話することが可能となる。

新しい医療を創るためには、医療者と患者を対立の関係から協働の関係へ、上下の関係から水平の関係へ導く道を開拓することが必要だ。そんなことを目指して、公開講座「患者学」は開講した。

患者の力: 患者学で見つけた医療の新しい姿

出版社: 春秋社

「患者には力がある!」 毎日を健康に生きるために、そのためにも、真の患者中心の医療を実現するために、いま必要なこととは。



加藤 眞三

1980年、慶應義塾大学医学部卒業。1985年、同大学大学院医学研究科修了、医学博士。1985-88年、米国ニューヨーク市立大学マウントサイナイ医学部研究員。その後、都立広尾病院内科医長、慶應義塾大学医学部内科専任講師(消化器内科)を経て、現在、慶應義塾大学看護医療学部教授(慢性病態学、終末期病態学担当)。



沖縄県内 難病患者団体 掲示板

## 2015年 5月の各団体定例会・交流会スケジュール

団体名	日(曜日)	時間	場所
八重山クローン病・潰瘍性大腸炎患者 家族の会	9日(土)	14:00~16:00	八重山福祉保健所
全国膠原病友の会・沖縄県支部	10日(日)	14:00~16:00	那覇市保健所3階 多目的室C
沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎友の会	13日(水)	19:00~21:00	那覇市保健所3階
四つ葉の会(宮古膠原病友の会)	16日(土)	14:00~16:00	宮古保健所1階 危機管理室
日本網膜色素変性症協会・沖縄県支部	17日(日)	14:00~16:00	沖縄県視覚障害者福祉センター(沖視協)
MS友の会(多発性硬化症・視神経脊髄炎)	17日(日)	16:00~18:00	サンアビリティーズうらそえ 研修室
沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎友の会(中部地区)	19日(火)	19:00~21:00	沖縄市福祉文化プラザ
神経難病友の会八重山	21日(木)	14:00~16:00	福祉センターボランティア推進室
強皮症・皮膚筋炎ゆんたく会	22日(金)	14:00~16:00	南風原町社会福祉センターちむぐる館
後縦靭帯・黄色靭帯骨化症 患者・家族交流会	29日(金)	14:00~16:00	南風原町社会福祉センターちむぐる館 問合せ(黒島)070-5413-8350
全国パーキンソン病友の会沖縄県支部	31日(日)	14:00~16:00	医療講演会 沖縄県総合福祉センター西棟4F

※詳細は下記患者団体連絡先へお問合せください。

## 沖縄県内難病患者団体一覧

団体名	代表者	連絡先
沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎 友の会	宮本 勝也	(宮本)090-8413-2621 (上原)070-5819-4876 <a href="http://okinawa-ibd.ciao.jp/">http://okinawa-ibd.ciao.jp/</a>
全国膠原病友の会 沖縄県支部	阿波連のり子	(阿波連)090-1944-2441 <a href="http://blog.kougen-okinawa.sunnyday.jp/">http://blog.kougen-okinawa.sunnyday.jp/</a>
もやの会沖縄ブロック	金城 忠英	(金城)098-879-5591
全国パーキンソン病友の会 沖縄県支部	又吉 忠常	(又吉) 090-8294-1974
日本ALS協会 沖縄県支部	伊波多和子	(新里) 090-5028-4599
全国筋無力症友の会 沖縄県支部	上原 アイ子	(上原)090-7479-8841 (金城)070-5482-8541
日本網膜色素変性症協会 沖縄県支部	長嶺 房子	北部部会(伊良波) 電話・Fax: 0980-53-1262 中部部会(金城) メール: chi070907@yahoo.co.jp 南部部会(當間) 電話: 080-6495-6846 那覇・浦添連絡員(國頭) 電話: 080-2773-1571 八重山部会(平良) 電話: 090-5081-5622
神経難病友の会八重山	松藤 純	(松藤)090-6635-4185 (島仲)090-8763-3670
八重山クローン病・潰瘍性大腸炎患者 家族の集い	内間 洋子 村山 盛有	(内間)090-9784-8219 (村山)090-1179-6912
強皮症・皮膚筋炎ゆんたく会	伊是名恵子	(伊是名)090-3792-0199
MS友の会(多発性硬化症・視神経脊髄炎)	仲里 清彦	(仲里)090-8290-3569
四つ葉の会(宮古膠原病友の会)	下地 ヒロ子	(下地)090-5489-4109

# アンビシャス 広場



## エッセイ 諸喜田 美智代さん (ALS)

### 「楽しい時間」

「おばあちゃんおはようございます」孫娘があいさつに米た。なまりのないきれいな日本語だ。アメリカに住む娘家族が一年ぶりに帰ってきた。孫達の泣き声や足音で家の中が一気ににぎやかになった。孫は2人、上の子は女の子で4歳、下の子は男の子で2歳。孫娘は人なつこく、まわりを笑顔にしてくれる。絵を描く事が大好きで私の部屋に入ってきて楽しそうに絵を描いている。部屋に飾ってある友人から送られた風景画の絵を真似て木の絵を描いていた。特徴を捉えうまく描いていた。私は壁に落書きされたらどうしようかとハラハラしていたが、その心配をよそに上手に用紙いっぱい描いていた。その孫娘が選んだ私へのお土産は、なんとアルマジロのぬいぐるみだった。聞くとテキ

サスでアルマジロは特別な存在らしいが、なかなか見ないぬいぐるみにビックリした。しかし彼女は、可愛いでしょう？と言いたげにニコニコして私の横にそれを置いた。下の男の子は人見知りかひどくママ以外抱っこされない。去年は夫の腕の中で眠っていたのに、触ろうものなら「ママー」と叫びながら逃げないので、いつも夫と追いかけてっこだ。一週間も経つと、自分で私の部屋にも入ってきた。

アメリカに帰る日、パパから投げキッスしてと言われて、照れながらしてくれた。嬉しかった。

ここで一句。  
「おばあちゃん 孫の笑顔に癒やされる」  
また会えるまでおばあちゃん頑張るよー！

## 患者団体からの

### おたより



## 全国パーキンソン病友の会 沖縄県支部より 医療講演会の案内

皆様お元気ですか？  
それなりに、とおっしゃられる方も多いですよネ  
ほんと、辛い事も一杯あるけどそれなりにと言えらるって素晴らしい！  
さて「パーキンソン病友の会」からの耳寄り情報です！

### 医療講演会

日時：5月31日(日)

午後2～4時(受付午後1時より)

場所：沖縄県総合福祉センター西棟4F

講師：魚住 武則先生(産業医科大学)

講演内容：非運動症状うつ症状等の対処

方法、また薬の効果について

パーキンソン病は身体の強張り、震え、すくみ足、姿勢、痛み等、人それぞれいろいろな症状が出ますが、先生のお話をしっかり聴いて自分に役立つ情報を収集しましょう。

ご家族の方も一緒に勉強してくださいとさらに嬉しいです。

申込、詳細問い合わせ(受付午後より)  
090-8294-1974(又吉)迄

## 読者の声



難病の皆さんがんばれ！

読んだり書いたりするほど、私のストレス解消と指のリハビリにつながる手段の一つと感ずるようになり又、紙上の「ゆんたくすみこー」に変身してしまっそう。

アンビシャスの編集のみな様御苦勞さま。そして助けてくれてありがとうございます。(会報誌の表紙の人達にいつも勇気付けられます)

〈山原のゆんたくすみこーより〉

今月号から紙面大きく変わったんですね。最初「袋とじ?なんかエッチ:」と思つたら右開きでした。でも縦書きの方が自然に読める感じがしますね。

また4段組は読み応えがあつて、今回の仲西さんの内容も具体的に詳しく、明るい前向きさが素敵だな、と思つていました。私は最近居酒屋での努力を怠つていたので身も心もアルコール消毒せねば!と反省し早速今月末に職場の内輪で(婚活に縁遠い者同士で)女子会を開催することにしました。気兼ねなくいくぜー待つてろビール!

〈ジューミー〉

皆様のご意見・ご感想などを御寄せください。ご紹介させて頂いた方には謝礼を差し上げます。詳しい応募要項は10頁をご覧ください。



# お勧め映画情報

**「ディナーラッシュ」**  
 /2000年アメリカ作  
 ニューヨークの四つ星イタリアレストランを舞台にした群像劇。レストランオーナーと息子の対立や、恋模様もあり、また、マフィア、ギャング、事件、客たちの人間模様など、色々詰まった、ある一晚の物語で、99分と見易い作品。

舞台となったレストランのオーナーであるボブ・ジラルディが監督を務め、わずか21日間で撮影されたという。

**渡久地 優子**  
 (進行性骨化性線維異形成症 (FOP))  
 カラーセラピーやパワーストーンも好きで、時々、ネットで見てます。

# 難病短歌 難病川柳

難病がある方や家族の方、サポートする方々で日常感じている悲しみ、辛さ、笑い、皮肉や優しさなどを短歌・川柳にしてご応募ください。採用の方には寄稿料として千円相当のクオカードを進呈します。詳しい応募要項は10頁をご覧ください。

**難病短歌**  
 ＊我病(ヤ)みと 心の中は 雨降れど  
 いつかは晴れる 夢を持ちつつ

山内 寿美子さん  
 毎日、骨をかじられるような痛みと闘っているけど、夢があるから負けないよ！

水疱に 薬ぬりつつ 数えた手  
 あの日の身体 マーブル模様

上里 栄子さん  
 数えるね〜と中学3年の娘が私の水疱を数え138のため息、あの数の後が今マーブル模様。自然の芸術はすごい！かも？かも！見せられないのが残念です

**難病川柳**  
 恋じゃないこのドキドキは 不整脈

ペンネーム ちむどん  
 拡張型心筋症です。時々動悸がします。普段は不快なこの動悸も、男性と話している時に突然脈のリズムが乱れたら一瞬動悸はしてしまいます。まだ乙女だなあ(今は太め)。

## 今月の占い

### 牡羊座

3月21日〜4月19日  
 時間配分を有効に使おう  
 ス：お風呂

### 牡牛座

4月20日〜5月20日  
 人の所為にはしない事  
 ス：昼寝・仮眠

### 双子座

5月21日〜6月21日  
 笑顔が幸福を引き寄せる  
 ス：掃除

### 蟹座

6月22日〜7月22日  
 失敗があつて成功を得る  
 ス：散歩

### 獅子座

7月23日〜8月22日  
 不幸は無い、作るの自分  
 ス：書(道)

### 乙女座

8月23日〜9月22日  
 信念は、自信にも繋がる  
 ス：映画鑑賞

### スリストレス解消法

### 天秤座

9月23日〜10月23日  
 生きてる理由は、使命探し  
 ス：料理

### 蠍座

10月24日〜11月21日  
 運が悪いのではなく 試練  
 ス：美術鑑賞

### 射手座

11月22日〜12月21日  
 信じるのは自分自身  
 ス：土いじり

### 山羊座

12月22日〜1月19日  
 喜怒哀楽があつてこそ  
 ス：音楽鑑賞

### 水瓶座

1月20日〜2月18日  
 色んな人との関わりで得る  
 ス：カラオケ

### 魚座

2月19日〜3月20日  
 泣いた後は、笑えばいい  
 ス：瞑想

## 編集後記

寒暖の差が激しい4月の春日が過ぎて日差しの眩しい初夏がはじまりましたがみなさまいかがお過ごしでしょうか。

今月から5頁、加藤教授の新シリーズ『患者学』もスタートしました。前回シリーズ同様、患者として医療機関や自分との向き合い方を強く前向きに考える読み応えのあるシリーズが今年度も始まります。

会報誌のリニューアル新企画「難病短歌・川柳」は、みなさまからの投稿も多くいただき参加型会報誌として充実してきたことを編集一同喜んでいきます。

普段会報誌で知るそれぞれの難病やその特徴を短歌・川柳という違う目線でふれるとまた新たな気づきになり、すっと心に入っていくのもまた不思議です。

アンビシャスの今年度テーマのひとつである「患者のみまさんの交流の場」としてより楽しい支援センターを目指し、会報誌のコーナー内だけでなく、本当のふれあい広場になれるよううちいさな出会いを大切にしてください。今月もどうぞよろしくお願ひします。



## 2015年 5月の各保健所からのご案内

【北部福祉保健所】 Tel:0980-52-2704

【中部福祉保健所】 Tel:098-938-9700

【南部福祉保健所】 Tel:098-889-6945

【那覇市保健所】 Tel:098-853-7962

【八重山福祉保健所】 Tel:0980-82-3241

5月の予定はございません。

【宮古福祉保健所】 Tel:0980-72-8447

●網膜色素変性症患者・家族の集い

日時：平成27年5月9日(土)14:00～16:00 場所：宮古保健所1F 危機管理室

※急な日程変更があることもございますので、事前の予約確認を各自でお願いいたします。

## アンビシャスよりご案内

### アンビシャス・カフェ(仮称)開催のご案内



難病を持つ方の、気軽なおしゃべりをする集いを企画開催します。

「患者会がないので交流の場所がほしい」「他の難病の方との情報交換やおしゃべりをする場あったらいいのに…」そんな方々の「憩いのオアシス」をめざしカフェを定期的に関きたいと思えます。

お茶をのみながら、ゆっくりおしゃべりを楽しみませんか！

場 所：難病相談支援センター アンビシャス事務所

日 時：5月20日(水)14:00～16:00 毎月1回/第3水曜日開催予定です。

対 象：難病をお持ちの方やそのご家族

定 員：5名程度(定員に達し次第、予約終了とさせていただきます。)

参加費：無料

問合せ・お申込み：

お電話でお問合せ・ご予約ください。Tel:098-951-0567

※駐車場・・・事務所前3台分あり、満車時は近くの駐車場へお願いします。当日精算します。

### 会報誌「アンビシャス広場」読者投稿コーナー(短歌・川柳、読者の声投稿募集)

先月号(Vol.155)より「短歌・川柳」「読者の声」への作品を募集しています。

採用のみな様へ「短歌・川柳」は1,000円相当、「読者の声」は500円相当のクオカードを進呈します。

応募はメール・FAX・郵送にてお願いします。

「短歌・川柳」はアンビシャスホームページのトップページからもご投稿頂けます。

(その作品を詠んだ背景や解説、病名なども20-30文字以内でコメントください。)

\*採用された作者へクオカードお送りしますので必ず住所・氏名を明記ください。

\*匿名希望の方はペンネームもお願いします。

※応募された作品原稿申込書などはお返し致しませんので、あらかじめご了承ください。

※他で寄稿していない作品に限らせていただきます。

## ご寄付・ご支援・ご協力ありがとうございます 順不同敬称略

サポート・パートナー法人

- 全保連株式会社 ●株式会社アイアム ●株式会社いなんせ典礼

毎月定期ご寄付の方々

- 驥尾の会 ●株式会社ぽーしょん ●匿名1名

3月のご寄付

- 今村 昌幹 ●株式会社 パートナー ●匿名 8名

※ホームページにも掲載しております。アンビシャスホームページ(TOPページ)にあるコンテンツより「寄付した方々/今年度」をご参照ください。

3月のご支援・ご協力

- 小波津正光さんよりFECお笑い劇場の優待チケット4枚・ウーマクーボーイズの優待チケット2枚を頂きました。
- 難病情報誌155号の折り曲げボランティアとして参加して頂いた方々  
指定障がい福祉サービス事業所「あるにこ」さん
- 千羽鶴ボランティアの方々  
(BCホールディングス株式会社様・千葉県のT様・神奈川県 of T様・福岡県のK様・京都府のT様・  
沖縄県のB.B c l l株式会社様、A様、U様、)

## 募金箱設置ありがとうございます 順不同敬称略

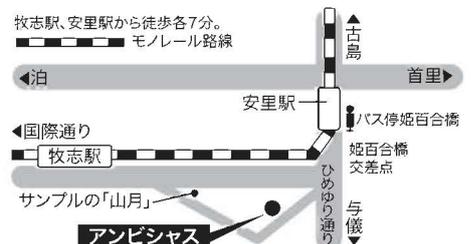
- ココストア浦添宮城三丁目店 ●レストラン&カフェ「オン・ディッシュ」 ●フォーモストブルーシール北谷店
- MISTY本店・美浜店 ●有限会社育英堂書房 ●T.TBOWLてだこ ●西崎オートサービス ●マリンショップぶくぶく
- 花野原 ●ホテルまるぎ ●水のサンクス ●株式会社メガネ一番 ●株式会社琉葉 ●恒和ペイント株式会社
- さわやか歯科クリニック ●三郎寿し ●海岸創庫21 ●auショップ久茂地店 ●沖縄県栄養士会
- T-SHIRT-YA.COM国際通り店・北谷店 ●カラカラとちぶぐわ~ ●サウンドメール ●又吉内科クリニック
- しゃしんやきんちゃんDigi-pit店 ●日本交通株式会社 ●さくら家さくら ●沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ
- 豚骨拉麺昇家 ●カラオケシアターDisone ●沖縄ちゃんぶるーネット(イオン那覇店1階) ●マヤMAYA
- 沖縄宝島(イオン南風原店1階) ●沖縄トヨペット株式会社港川店・中部店・小緑サザン店 ●八重山そばびんだま
- 串焼き屋あだん ●山城二輪 ●社団法人全国個人タクシー協会沖縄支部 ●全保連株式会社 ●シャトル・ケア
- 全保連コントロールセンター ●有限会社だいにちシール ●オリオンビール株式会社 ●株式会社大成ホーム
- 照正組 ●株式会社かりさら ●上間菓子店 ●HAIR&MAKE EARTH沖縄新都心店 ●メディケアセンター
- 2 Da TOP(ツダトップ)ダンススタジオ ●株式会社いなんせ典礼 ●ジョッキハウス

## 法人賛助会員 順不同敬称略

- 全保連株式会社 ●沖縄トヨペット株式会社 ●有限会社クニオフィスサプライ ●株式会社 アイアム
- 弁護士法人 岡野法律事務所 ●医療法人かなの会コザクリニック ●さわやか歯科クリニック ●日本交通株式会社
- 有限会社 翔南石材 ●株式会社 舜 ●しゅくみね内科 ●有限会社 ダイヤプリント ●株式会社 メガネ一番
- オリオンビール株式会社 ●株式会社 名城 ●株式会社ざまみダンボール ●高良登記測量事務所 ●水のサンクス
- 社団法人 沖縄県栄養士会 ●株式会社 アクティブ ●有限会社 長堂商事 ●株式会社 アース ●プログレス
- 有限会社 沖縄矢崎販売 ●ふたば訪問看護支援センター ●株式会社 ぽーしょん ●テルモ株式会社 ●南西医療器株式会社
- 株式会社 ウェルビー ●有限会社 医学写真研究所 ●株式会社いなんせ典礼 ●株式会社エルダリーケアサービス

みなさま、ご支援・ご協力、本当にありがとうございます。

**アンビシャス** 〒900-0013 沖縄県那覇市牧志3-24-29(グレイスハイム喜納2 1F)  
 Tel:098-951-0567(代表)  
 Fax:098-951-0565  
 http://www.ambitious.or.jp

発行元/沖縄県難病相談支援センター アンビシャス(認定NPO法人)

理事長: 迫 幸治 副理事長: 照喜名 通

私たちは、沖縄県難病相談・支援センターアンビシャスの活動を応援しています!



**Zenhoren**

全保連株式会社 代表取締役 迫 幸治  
〒990-0003 那覇市安謝2丁目2番5号 TEL:098-866-4901(代表)



**RYUKYU GOLDEN KINGS**  
http://www.okinawa-basketball.jp  
facebook:Ryukyu Golden Kings Official  
TEL:098-897-7331 e-mail:customer@okinawa-basketball.jp

MARKX PRIUS AQUA ALPHARD Esquire

もっとクルマの楽しませんか。  
Answer, for you. TOYOPET

**沖縄トヨペット**

学問なき経験は、経験なき学問に勝る。

Answer, for you. TOYOPET

複写機・OA器機リース、レンタル、  
オフィス家具までトータル提案

**KOS** 株式会社  
**クニオフィス サプライ**

本社 〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客1丁目20番14号  
Tel:098-879-0162(代) Fax:098-879-0198  
E-mail: kos-knti@nirai.ne.jp  
http://www.kunioffice.net  
北部営業所 〒905-0006 沖縄県名護市大北5丁目20番25号  
Tel:0980-51-1600 Fax:0980-51-1601

とちかおくちょうさし  
**土地家屋調査士**  
**伊波 学**  
098-897-1245  
http://w1.nirai.ne.jp/mabu05/  
e-mail:mabu05@nirai.ne.jp

**お墓のしょうなん**  
**新築・修繕・建替え**  
お墓の年間管理いたします  
◎お墓よろず相談所(無料でご自宅へ出張OK)  
《見積無料》 有限会社 **翔南石材**  
☎945-8771 西原町字我謝688-7

ALS 脳性麻痺  
筋ジストロフィーなど  
**重度障がい者**  
**夜間滞在型訪問介護サービス**

訪問介護とは、ヘルパーがご自宅にお伺いし、入浴、排泄、着替などの「身体介護」と掃除、洗濯、調理などの「生活援助」を行うサービスです。

- トイレ介助 ●食事・調理 ●入浴 ●着替・洗濯 ●体位交換
- たん吸引 ●おむつ交換 その他

株式会社 日本エルダリーケアサービス  
**でいごの花 宜野湾** Tel:098-896-1666  
〒901-2201 沖縄県宜野湾市新城1-24-1 Fax:098-896-1667

難病・障害をお持ちの方の  
働き場所を準備しました。

【就労内容】  
野菜の栽培・収穫・箱詰め、エコクラフトなど

那覇市指定就労継続支援  
A型事業所 **スマイルワーク**  
Tel:098-835-9801  
担当:仲宗根 順子

指定就労継続支援A型事業所  
**SMILE WORK**  
スマイルワーク